

2018年 事業所向け 放課後等デイサービス評価表

H 30 年 11 月 5 日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室当スペースとの関係で適切であるか	1	2		法令を遵守したスペースを確保しているが、外遊びを多くとるようにしている。
	② 職員配置数は適切であるか	2	1		法令で必要な人員数は確保している。それに加え利用人数に応じて指導員数を増加している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	2	事業所が2Fにあり、階段があるので昇降時には安全を確保するため、指導員と一緒に昇降している。また、危険個所を全職員に周知し安全確保に努めている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			入社時研修と社内研修(1回/月)、ミーティング(毎日)で周知している。
	⑤ 保護者等向け利用評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			毎年11月に実施している。集計した物を保護者へ開示、問題点等社内ミーティングで話し合っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			チャイルドグループのHPで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	今後設置するように検討したい
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			1回/月定期研修を行っている。また、本部での発達コーチの研修やミーティングに参加している。外部研修にはなるべく参加をしている。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			モニタリングの時に聞き取り反映している
	⑩ 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3		アセスメントシートを標準化して使用している
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			社員が活動内容を提案し他指導員と検討している
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3			季節や利用人数を考慮し毎日決めている
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			支援開始前にミーティングでその日の活動、個別課題を話し合い設定している
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			個別活動、集団活動の課題を個別支援計画を作成しそれを職員間で共有している
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			毎日、支援開始前にミーティングで活動内容、活動中の留意点について確認をする
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援を振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	2		翌日振り返りのミーティングを行う。報連相はメールや電話での時もある。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	3			保護者への連絡帳及び支援記録を日々記録をしている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			半年に一回は必ず計画の見直しを行うようにし、必要に応じて細かい計画の変更も行うようにしている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3			ガイドラインの総則を全員に読むようにしている。活動には参考にしながら行っている。	

2018年 事業所向け 放課後等デイサービス評価表

H 30 年 11 月 5 日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との関係	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			児童発達支援管理者が会議に参加している
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3			送迎時や電話連絡、必要に応じて面談し情報共有している。年間計画、行事予定等はコピーをもらっている
	㉒ 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	2	現状利用はない。今後は連絡体制を整えるように配慮したい
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3		相談員から情報をもらっている
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3		相談員へ情報提供している
	㉕ 児童発達センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		1	研修は受けている
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	1	地域でのお祭りや運動会など参加の機会があればと考えている。また、保護者からの学校で行っているため特に望まない意見があったので特に機会を作っていない
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	1	
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			送迎時や連絡帳、電話連絡で日頃の様子を伝えている。また、ママ会を開催し情報共有に努めている
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3		ママ会に参加している保護者には相談を行っている
保護者等への説明責任等	⑳ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			利用を始める前に、重要事項説明書、契約書を説明を通して運営規定、支援内容、利用者負担等について伝えている。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			随時相談に応じている。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	1	母の会を開催しているが中々集まりが悪い。今後親子でのイベントを行う予定である
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備する共に、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			苦情解決責任者を設置し迅速に対応している
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連携体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			毎月会報を作成し保護者、相談員、学校に発信している
	㉕ 個人情報に十分注意しているか	2	1		守秘義務の厳守を社内研修で行っている
	㉖ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	3			必要に応じ連絡帳を利用している
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			3	今後していきたい

2018年 事業所向け 放課後等デイサービス評価表

H 30 年 11 月 5 日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
非常時等の 対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3		緊急時の対応は周知しているが防犯対応はしていない
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			年2回行っている
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1		マニュアルを作成し社内研修で行っている
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		3		身体拘束を行わないようにしている
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2		全ての児童にアレルギーを確認している
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			ヒヤリハットを記載しミーティングで共有している